

# 健苗育成で1等級比率95%達成スタート

今年の消雪は平年よりやや早まる見込みです。4月・5月の気温は、平年より高い確率が40%と予報されています。昨年と同様に苗の徒長が予想されるので、播種が早すぎないように計画を立て、温度管理を徹底しましょう。

## 1 育苗計画

- 最適期田植(平坦地5月15~20日)に合わせた育苗期間となる播種計画を立てましょう。

## 2 種子予措

- 平成28年産種子の休眠は平年並みと推定されます。
- 浸種は初日から水温10~15℃を確保し、積算温度で100℃を目安に行いましょう。
- 催芽は発芽状態(鳩胸程度)を確認してから終了しましょう。
- 温湯浸法による種子消毒(温湯消毒)のみでは、防除効果が不十分なため必ず「温湯消毒+生物農薬」の体系防除を実施しましょう。

## 3 播種

- 播種量は右表を基準とし、健苗を育成しましょう。
- かん水量が不足しないように、十分なかん水を行いましょ。 (かん水の目安は1箱当たり1~1.2ℓ)

育苗様式	播種量(箱当たり)	
	乾粃	催芽粃
稚苗	130~140g	160~175g
中苗	80~100g	100~125g

## 4 温度管理

- 温度計を苗の高さに設置し、こまめに温度を確認し、適正な温度管理に努めましょう。
- 緑化期の高温時は、二重被覆により遮光率を高める等の高温対策を行いましょ。
- 硬化期の高温時は、十分に換気しましょ。
- 低温時や霜注意報発表時は、被覆を行いましょ、苗を守りましょ。

### 【加温出芽における温度管理・処理日数(稚苗)】

育苗段階	終了段階の苗の生育	温度管理(℃)		処理日数(日)
		昼間	夜間	
出芽期	出芽長 0.5~1cm	30	30	2~3
緑化期	第1葉鞘長 3.5cm	20~25	15~18	2~4
硬化期	苗丈 12cm	15~20	10以上	12~13

※こしいぶきは、苗丈が短いので出芽長を1cmとし、緑化期間をコシヒカリより1日程度長めにしましょ。

## 5 いもち病防除

オリサストロピンを成分とする農薬(商品名 嵐箱粒剤 他)は、いもち病薬剤耐性菌の発生が確認され、いもち病防除効果が著しく低下する恐れがありますので、使用は避けてください。

- 北魚沼地域は全域いもち病多発生地域です。育苗箱施用剤等による葉いもち防除を徹底しましょ。(JA苗は一部を除き防除済みです。)

不明な点は農協営農センターまたは普及センターまでおたずねください  
携帯メール会員募集！タイムリーな稲作・気象情報を配信しています！登録方法は、営農センターへお問い合わせください！